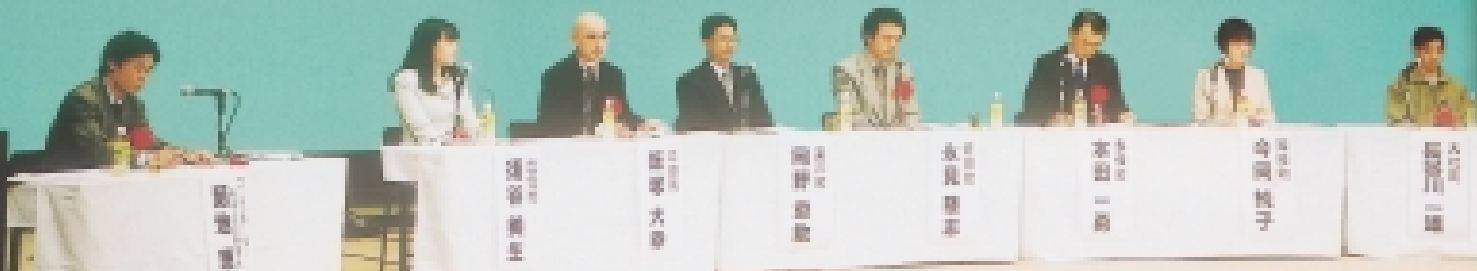
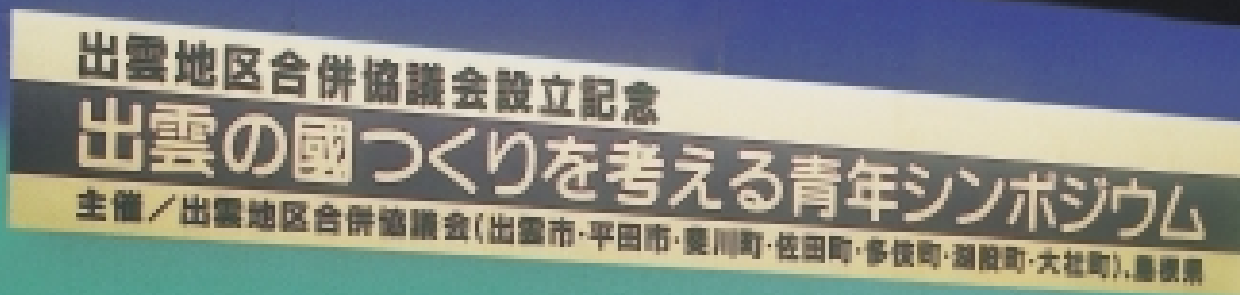


出雲地区合併協議会だより（出雲市・平田市・斐川町・佐田町・多伎町・湖陵町・大社町）

# 未来と古代が響き合う 日本のふるさと出雲の國づくり

第3号

平成15年3月17日



シンポジウム(パネルディスカッション)風景

## 語ろう! 出雲の國づくり

平成15年2月16日、大社町の大社文化プレイスうら館を会場に、出雲地区合併協議会の設立を記念して「出雲の國づくりを考える青年シンポジウム」を開催しました。

当日は、当協議会委員でもある島根県立大学総合政策学部の田嶋義介教授に「合併と新しいまちづくりについて」と題した基調講演をいただいた後、2市5町でまちづくりに取り組んでおられる青年の方々をパネリストに迎え「語ろう出雲の國づくり」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

会場では、約350人の参加者が、新市のまちづくりについての出演者の意見に耳を傾け、様々な角度から合併への取り組みを考えました。(詳細は4・5ページに掲載)



### CONTENTS(目次)

第3回合併協議会開催	P2~3
出雲の國づくりを考える 青年シンポジウム開催	P4~5
お知らせボード	P6

発行 / 出雲地区合併協議会 編集 / 出雲地区合併協議会事務局

〒693-0002 出雲市今市町北本町2丁目1番地12 出雲交流会館内 電話 0853-23-1008・FAX 0853-23-1036  
URL: <http://www.izumo-gappei.jp> E-mail: [info@izumo-gappei.jp](mailto:info@izumo-gappei.jp)

# 第3回

# 合併協議会を開催

平成15年2月28日(金) 出雲交流会館2階会議室で開催しました。会議の内容は次のとおりです。

## 報告事項

### 報告第13号

\* 新市名称・庁舎検討小委員会報告について  
第1回小委員会を平成15年2月26日に開催し、その開催

## 新市名称・庁舎検討小委員会委員

氏名	委員区分	所属等
吉原 弘次	共通委員	島根県出雲総務事務所長
西田 郁郎	出雲市学識経験委員	出雲市自治協会連絡協議会会長
飯塚 俊之	平田市学識経験委員	平田青年会議所副理事長
小島 光郎	斐川町議会議員	広域行政調査特別委員会委員長
今岡 仁左恵	佐田町学識経験委員	佐田町商工会会長、佐田町地域合併協議会会長
石飛 赳	多伎町学識経験委員	多伎町文化財専門委員
中尾 陽	湖陵町学識経験委員	JAIいずもふれあい福祉課長、企画集団パーバムーン代表
小川 峰夫	大社町学識経験委員	大社商工会会長

委員長 副委員長

## 議案事項

### 議案第12号

\* 出雲地区合併協議会小委員会設置規程の一部改正について

第1小委員会、第2小委員会、第3小委員会及び新市議会制度検討小委員会を新たに設置することとし、これに伴う規程の改正が決定されました。

## 各小委員会の所掌事項

名称	所掌事項		構成委員
	新市建設計画関連	協定項目関連	
第1小委員会	総務・企画、財政、議会及び消防・防災に関する事項の検討	慣行の取扱い、一般職の身分の取扱い、特別職の身分の取扱い、組織及び機構の取扱い、消防・救急の取扱い、地方税の取扱い、各種事務事業の取扱い(広報・広聴、交通政策、国内・国際交流、男女共同参画、情報公開、選挙、地域コミュニティ・行政連絡員、消防・防災)	学識1名×7市町議員1名×7市町共通委員1名
第2小委員会	住民・福祉及び教育・文化に関する事項の検討	国民健康保険事業の取扱い、介護保険事業の取扱い、各種事務事業の取扱い(保健事業、病院・診療所、障害者福祉、高齢者福祉、児童福祉、その他の福祉、保育、環境、人権同和、生涯教育、文化・スポーツ、学校教育)	学識1名×7市町議員1名×7市町共通委員1名
第3小委員会	産業及び建設・上下水道に関する事項の検討	農業委員会委員の定数及び任期の取扱い、各種事務事業の取扱い(農林、水産、観光商工、建設、公営住宅、水道、下水道、都市計画)	学識1名×7市町議員1名×7市町共通委員1名
新市名称・庁舎検討小委員会		新市の名称、新市の事務所の位置	各市町1名×7共通委員(出雲総務事務所長)
新市議会制度検討小委員会		議会議員の定数及び任期の取扱い(選挙区制度を含む)	学識1名×7市町共通委員1名

### 【委員からの意見】

・新市議会制度検討小委員会のメンバーについて、議会議決の委員も加えた方が良く、加えなくても良いという両方の意見がありました。そして、この小委員会は、統一地方選挙後に立ち上げたいという意見もありました。

また、新市議会制度検討度の検討を所掌事項に加えることとしました。

小委員会の所掌事項に選挙区制度の検討も加えて欲しい、という意見がありました。

### 【協議会での結論】

新市議会制度検討小委員会は、速やかに立ち上げることとし、そのメンバーは各市町の学識経験を有する委員及び共通委員とし、議員の意見を反映させながら審議していくこととしました。

また、委員からの意見のとおり、選挙区制度の検討を所掌事項に加えることとしました。

### 議案第13号

\* 新市建設計画について【合併協定項目25】(前回「協議第5号」で提案)

事務局及び総務企画専門部会等で原案作成 幹事会で検討の後、協議会へ原案を提出 内容によっては協議会

から第1・第2・第3小委員会へ付託 小委員会の報告を受けて協議会で決定、という手順で計画策定をしていくことが決定されました。

### 議案第14号

\* 各種事務事業の取扱いについて【合併協定項目24】(前回「協議第6号」で提案) 各種事務事業調整にあたっては、一体性確保の原則 住民福祉向上の原則 負担公平の原則 健全な財政運営の原則 行政改革推進の原則 に基づいて進めていくことが決定されました。

### 議案第15号

\* 電算システムの取扱いについて【合併協定項目23】(前回「協議第7号」で提案) 各市町の電算システムの統合については、合併時に住民サービスの低下を招くことのないよう、早期に調整を行うシステムを構築し、経費を抑えつつも、地域情報化に対応するよう努めること等が決



定されました。

4月に、出雲市外6市町広域事務組合に2市5町の中から4名の職員を専属スタッフとして派遣し、電算システム統合の準備をしていく予定です。

【委員からの意見】

電算システムの統合は、合併の枠組みが確定した段階でやるべきものではないか。また、事業費はいくら位かかるものか説明願いたい。

【会長の回答】

合併後の住民サービスに支

障をきたさないため、準備しておく必要がありますが、統合作業を進めるにあたっては、各市町の主体性を尊重していきたいと思えます。

【事務局の回答】

現在実施している電算システム統合調査・基本計画策定業務の最終報告が平成15年6月に出てきますので、これによって事業費なども判明していくことになると考えます。

議案第16号

\* 条例、規則等の取扱いについて【合併協定項目⑧】

条例・規則については、議案第14号で決定された各種事務事業の調整方針に基づき統一を図り、新市における事務事業に支障をきたさぬよう整備することが決定されました。

協議事項

協議第8号

\* 議会議員の定数及び任期の取扱いについて【合併協定項目⑨】

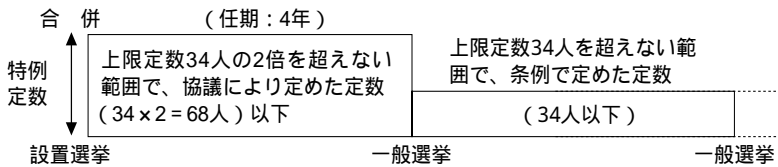
今後「新市議会制度検討小委員会」において審議し、協議会で決定することを提案しました。

議会議員の定数及び任期の特例の概要（2市5町の新設合併の場合）

1 定数特例（合併特例法第6条第1項）

設置選挙の際に、法定定数の2倍を超えない範囲まで定数を増加することができる。

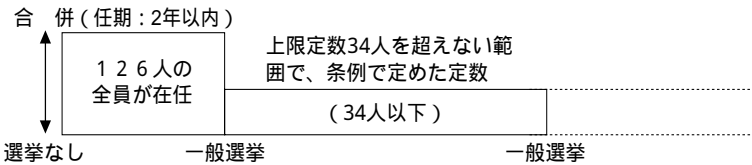
出雲地区7市町の人口（平成12年国勢調査）計173,776人  
地方自治法第91条の上限定数 34人



2 在任特例（合併特例法第7条第1項）

旧市町村の議員は、合併後2年を超えない範囲に限り、新市町村の議員でいることができる。

出雲地区7市町の現在の議員数 計126人



参考

2市5町は新設合併するため（第2回協議会で決定）、各市町の議会議員は、全員合併時にその身分を失うこととなります。これにより、新市設置の日から50日以内に新市の規模に合わせた定数2市5町の場合34人）以内で設置選挙を行うことが原則になります。

しかし、議会議員の定数及び任期については特例措置を選択することができます。特

その他

例措置を適用するかどうかは、今後小委員会や協議会で検討していくこととなります。特例措置の概要は左記のとおりです。

\* 出雲地区合併協議会設立記念シンポジウムの開催結果について

シンポジウムの参加者数、会場アンケートの集計結果等を報告しました。（これらに

ついては、協議会のホームページで紹介しています。）

\* 新市建設計画に係る住民アンケートの実施について（実施状況）  
2市5町にお住まいの18歳以上の方から16,550人（全人口の12%）を無作為抽出して実施した状況を報告しました。調査結果については、次回（第4回）の協議会で報告する予定にしています。

【委員からの意見】

これから小委員会に分かれて本格的に議論していくこととなりますが、この時点で、委員の共通認識をつくるために、協議会の中でフリーディスカッションをやってはどうか。

【協議会での確認】

・ 次回の協議会で実施することとしました。

【委員からの意見】

・ 各市町の基金や大型事業の取扱いについて、市長・町長の間で議論されたことがありますか。

【会長の回答】

・ 議論しています。現時点では、お互い良識と信頼関係でいくという原則です。この問題は引き続き議論していきます。



# 設立記念

# 国づくりを考える 青年シンポジウム」を開催



いづか だいこう  
**飯塚 大幸氏**  
平田市在住。一畑薬師管長、  
平田市基本構想審議会委員



すたに みお  
**須谷 美生氏**  
出雲市在住。フリーライター、  
出雲市男女共同参画推進委員

パ  
ネ  
リ  
ス  
ト



きくち けいすけ  
**菊地 恵介氏**  
出雲市在住。  
島根日日新聞社

コ  
ー  
デ  
ィ  
ネ  
ー  
タ  
ー

## パネルディスカッション

平成15年2月16日(日)14時30分から、大社町の大社文化プレイスうらら館・だんだんホールを会場に開催しました。このシンポジウムでの主な提言内容等を紹介いたします。



ほんだ かずお  
**本田 一勇氏**  
多伎町在住。会社員、スィムラン発案者・実行委員長



ながみ たかし  
**永見 隆志氏**  
佐田町在住。団体職員、コミュニテ  
ィ組織「中央みどり会」事務局長

「語ろう出雲の国づくり」  
テーマ

重点的に取り組んで欲しい施策  
\* 働く場の確保のための産業の育成を。新しいまちとして

まちづくりの基本スタンス  
\* 合併した後、その中でお互いが牽制してエゴを出しては  
いけない。松江圏と張り合うのも良くない。出雲圏と松  
江圏が更に連携して地域全体を盛り上げるようにしない  
といけない。  
\* 「出雲」は全国ブランド。このイメージを活かして圏域  
全体で整備していくことが重要。  
\* 2市5町で各地域についての共通認識ができ、お互いに  
痛みが分かり合える状況になれば、まちとしての一体感  
が出てくる。そのためにも、行政は情報をどんどん出し、  
血のめぐりを良くし、脳こうそくの起きない行政として  
欲しい。  
\* 地域の総合力が問われている。そのためにも、地域間・  
世代間交流を密にして、相互理解を深めていかなければ  
いけない。  
\* 住民も、自分たちの手で経済の活性化を図るという意識  
を向上させる必要がある。

合併に対する思い  
\* 合併は大きなチャンス。出雲だけではなく、国がよくな  
るように活かしたい。  
\* 21世紀の国づくりは、再びこの出雲圏からという気概を  
もって、活気のある出雲圏を目指したい。  
\* 合併は、自分の住んでいる町はどんなにいい所か考えるよ  
い機会。  
\* 合併の関心がまだ低い。自分たちの手でまちづくりを。  
\* 人と人とのつながり、心と心の交流を基本にしたい。



## 基調講演

### 講師

島根県立大学総合政策学部

田嶋 義介 教授

### 演題

「合併と新しい  
まちづくりについて」



講演中の田嶋教授

田嶋教授は、全国で市町村合併が繰り広げられている最大の原因は、国や地方の財政難にあると指摘。さらに、出雲地区任意合併協議会が試算した2市5町での合併後の財政推計や島根県の財政データを基に、次のようなご提言をいただきました。

今回の合併は行財政改革のチャンスであり、暮らしを良くし、税収増につながるようなまちづくりが必要である。

**行財政改革をしないと合併のプラス効果が生まれない。**

2000年までの過去10年間の島根県内の総生産額において、第3次産業の伸びが大きいことから、第1次・第2次・第3次の各産業をバランスよく成長させていくのか、第3次産業、あるいは環境・福祉・観光・教育を重視したまちづくりをしていくのか、「**まちづくりの哲学**」が必要である。

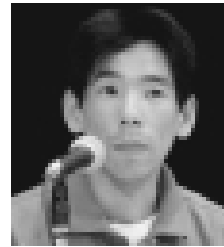
また、合併後の中心部と周辺部での行政サービスに格差が生じるといった不安を解消するために、合併特例法で認められている「地域審議会」制度よりも更に強い権限を持った「自治区長制」についての紹介があり、最後に、まちづくりと行財政改革に対して、住民の皆様は監視の目を注いでもらいたいという意見をいただきました。

# 出雲地区合併協議会 「出雲の國」



おかの しげとし  
岡野 重敏 氏

斐川町在住。会社役員、出雲青年会議所会員



はせがわ かずお  
長谷川 一雄 氏

大社町在住。会社員、大社町合併地域協議会委員



いまおか じゅんこ  
今岡 純子 氏

湖陵町在住。湖陵町主任児童委員、湖陵町地域安全推進員

### 会場から

新市の名称の考え方についてパネリストに質問がありました。パネリストからは、知名度からも「出雲」という名前（漢字、ひらがなを特定するものではなく）を使うという意見をはじめ、古代出雲や歴史をイメージする名前、2市5町の地域特性が分かる名前といった考えが出されました。

### まとめ

\* 地域の中で、住民一人一人がまず地域特性を認識し、それを活かしていく努力が必要。  
\* 今回出た意見を合併協議の参考に。

\* 分権の受け皿づくりを出雲地域でも早くしてもらいたい。  
\* 若い人が意見を出せる場の提供を。若者が合併に無関心にならないように。  
\* 各温泉施設を使ったりハピリ事業（例）

\* 少子高齢化を逆手にとつて、新しい産業ができないか。

\* 行政は、無駄を省き、いいものをしっかり伸ばすスタイルとなり、それを民間がバックアップできるシステムを作つて欲しい。

\* 大人が前向きに暮らしていくことが大切。これが子どもには最大の教育であり、結果として地域への愛着、誇りを持つこととなる。

\* 観光戦略をたて、例えば中高年向けの高級イメージをもつたリゾート的観光施設をつくってはどうか。

\* 観光面では2市5町の地域間で連携していかなければいけない。更に石見銀山とか圏域外の地域とも連携が必要。

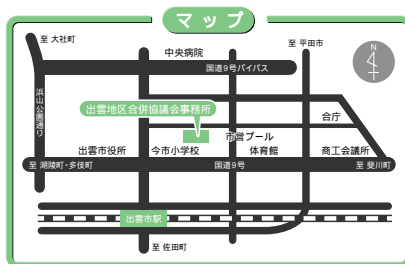
\* 出雲地域のリーダーとなりうる人材を育てていくことが必要。出雲に愛着が持てるような教育、都会に出て帰りたいという気持ちを持てるような教育を。

\* 出雲地域のリーダーとなりうる人材を育てていくことが必要。出雲に愛着が持てるような教育、都会に出て帰りたいという気持ちを持てるような教育を。

# お知らせボード

● 次回協議会は3月28日(金) ●

第4回協議会 平成15年3月28日(金)15:00~  
出雲市今市町北本町 出雲交流会館



\*統一地方選挙等のため、4月の協議会は開催しません。第5回協議会は5月23日(金)に開催する予定です。

## 出雲地区合併協議会委員の交代

平田市選出の委員に下記のとおり交代がありました。(印は副会長)

(旧)	区分	平田市	(新)	区分	平田市
	議長	日野 恵行	⇒	議長	常松 吉幸
	議員	三代二美男		議員	日野 恵行



今回の協議会には、斐川東中学校の2年生13名が見学に訪れました。若い世代の人たちも、合併について注目しています。

合併協議会は原則的に公開しており、傍聴ができます。詳しくは事務局(電話 0853-23-1008)までお尋ねください。